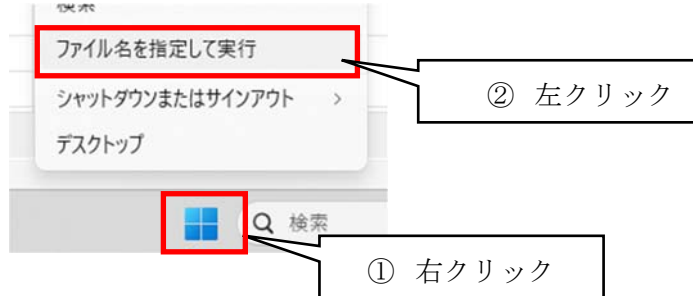


Windows11 24H2 にアップデートしたら 共有フォルダが開けない時の修正方法 (測量プログラムが起動出来ない時も該当します。)

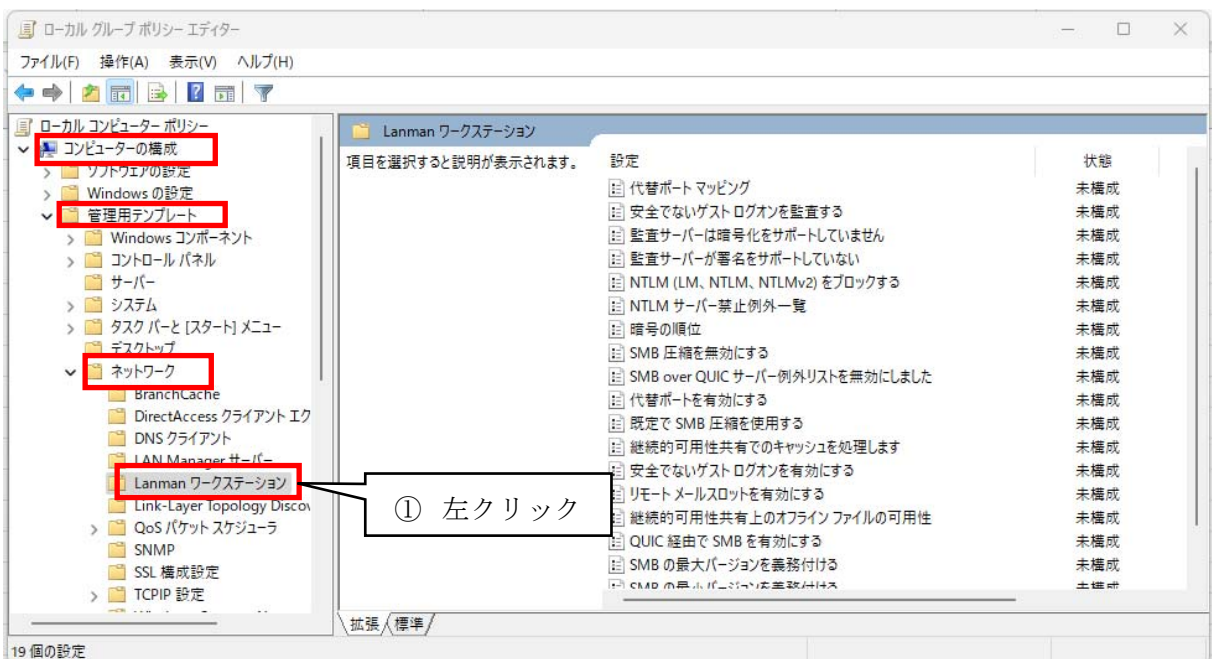
1. Windows マークを右クリックして ファイル名を指定して実行 をクリックします



2. 名前のところに `gpedit.msc` と入力してOKをクリックします。

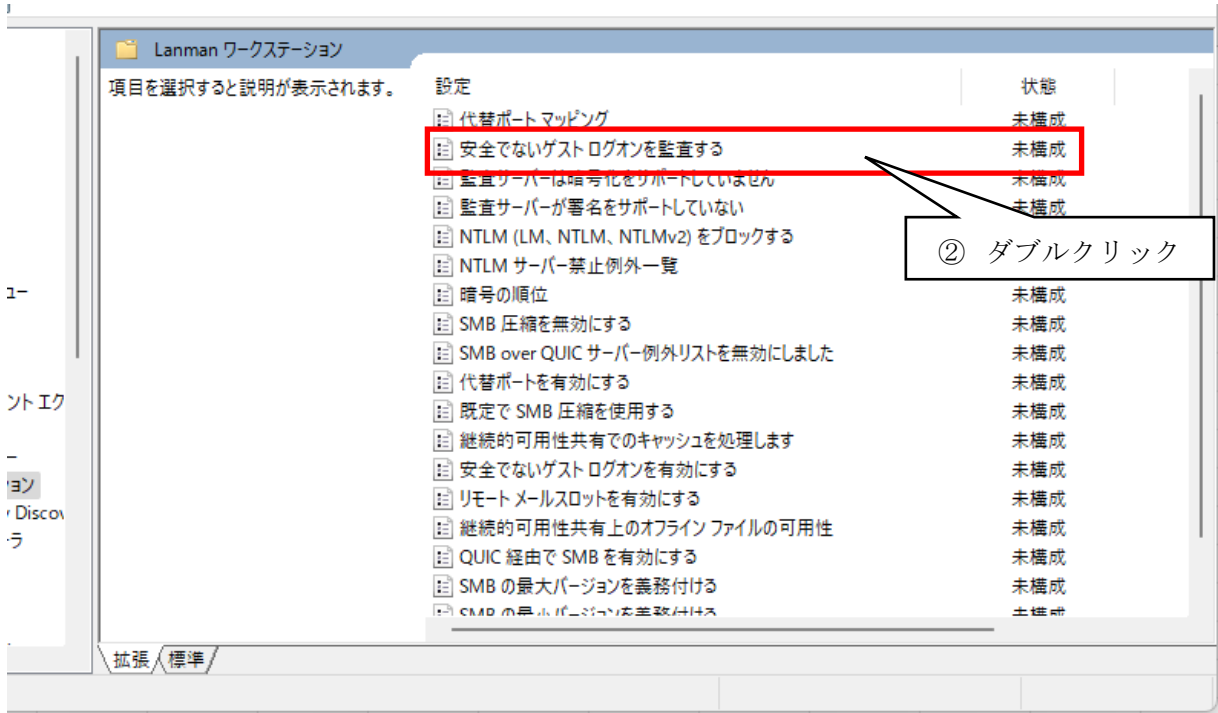


3. ローカルグループポリシーエディターが開くので、左側ペインの
コンピューターの構成→管理用テンプレート→ネットワークを展開して
Lanman ワークステーションをクリックします。

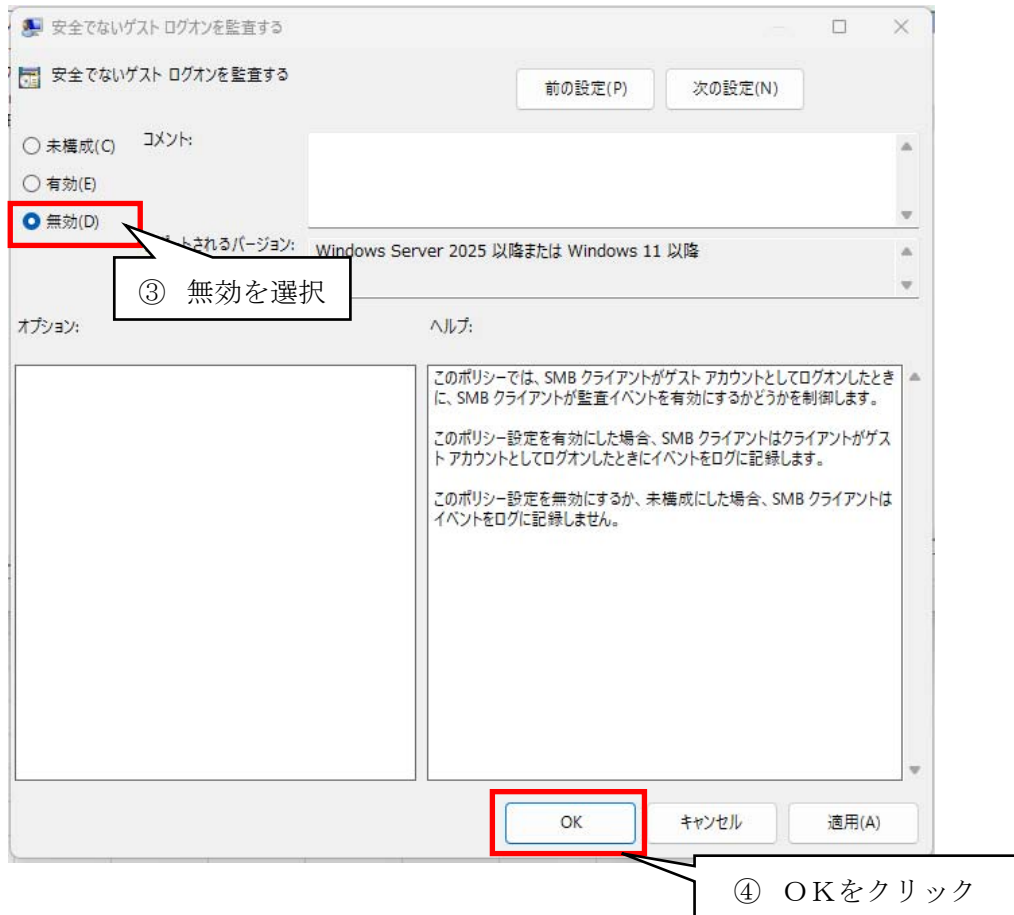


4. 右側ペインにある

安全でないゲスト ログオンを監査する をダブルクリックします。

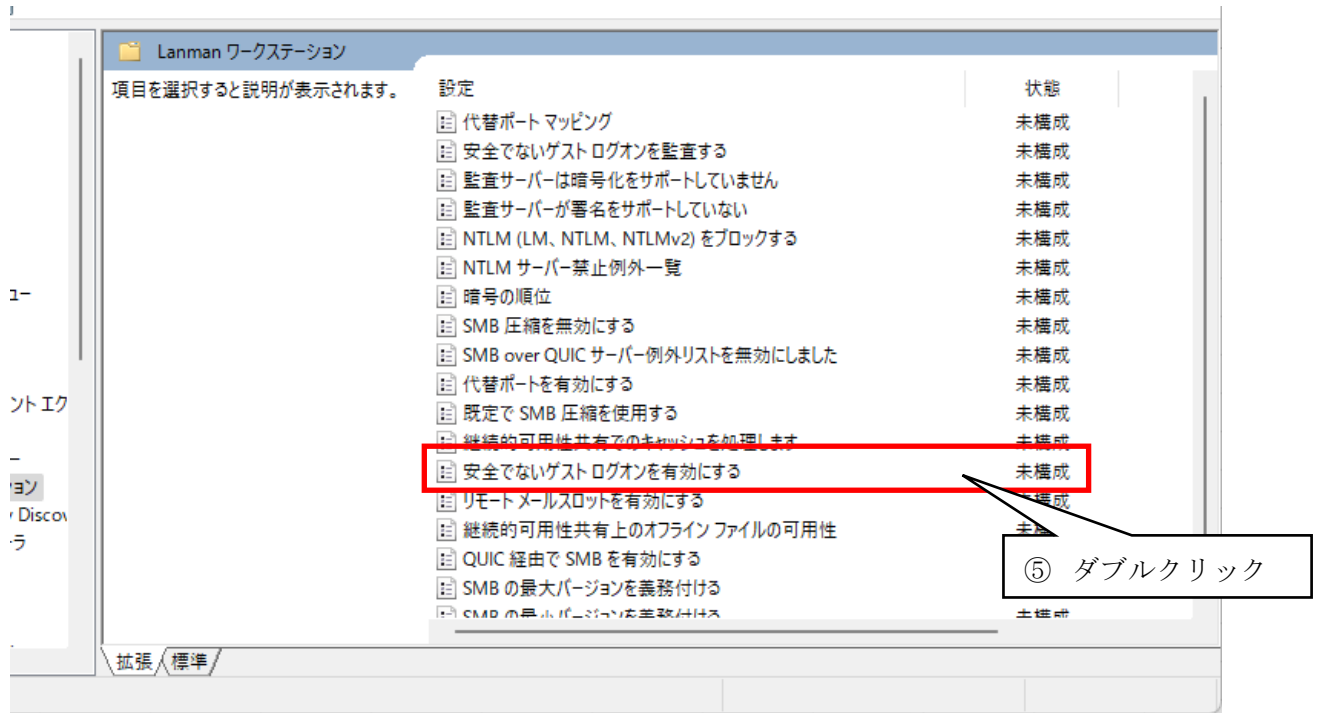


5. 無効を選択してOKをクリックします。

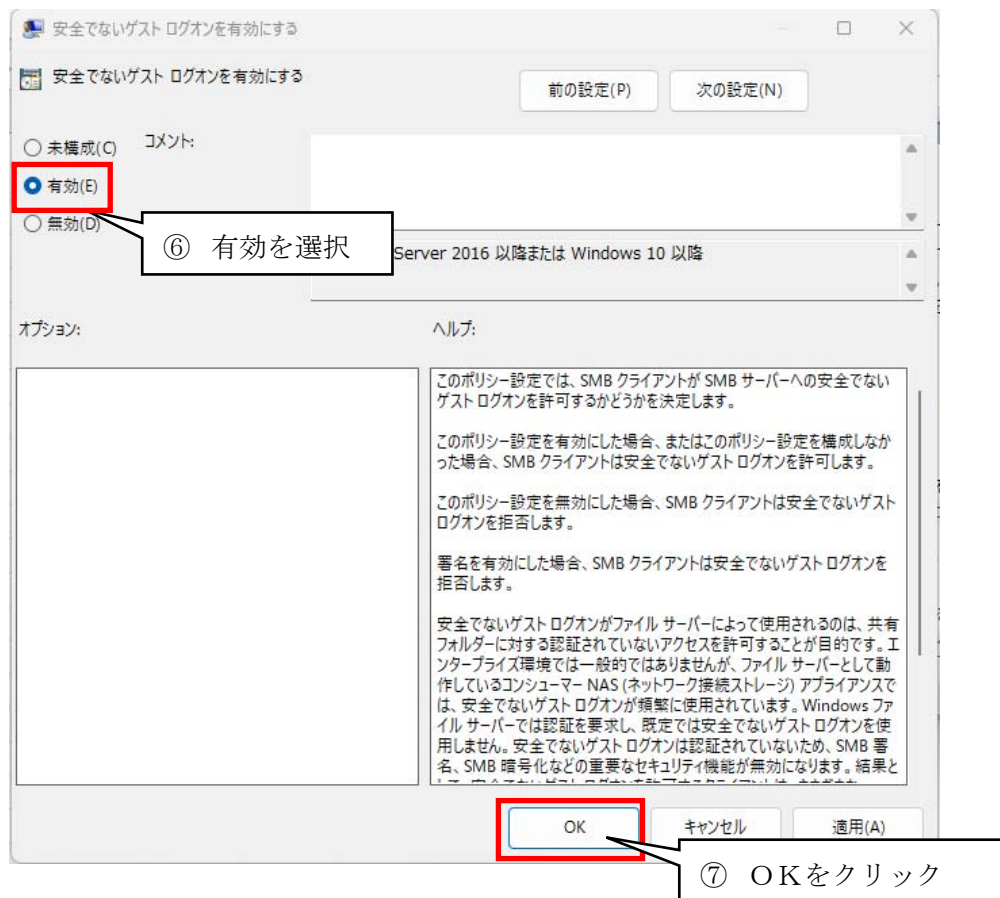


6. 同様に右側ペインにある

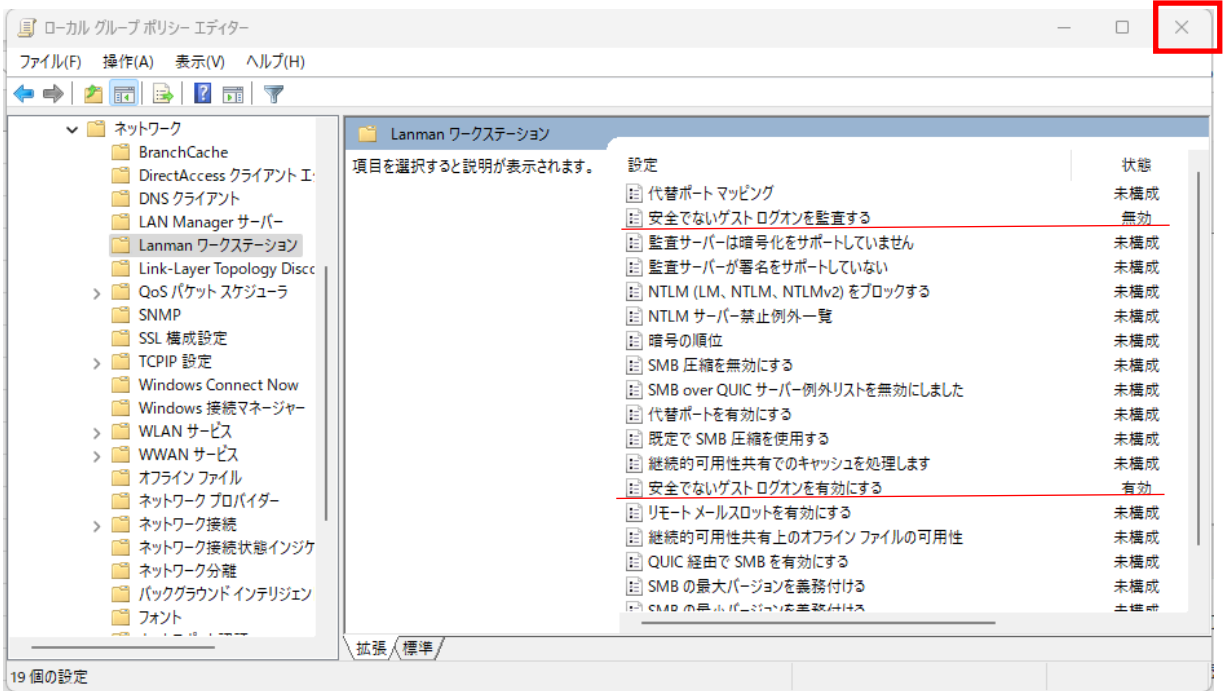
安全でないゲスト ログオンを有効にする をダブルクリックします。



7. 有効を選択してOKをクリックします。

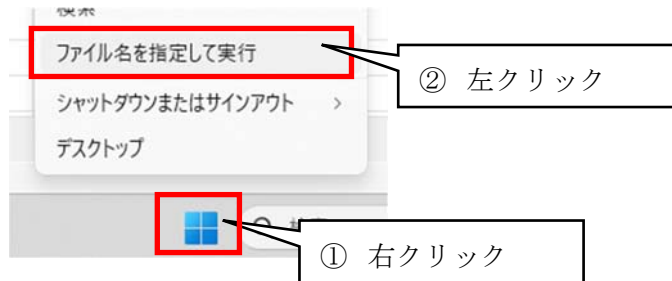


8. 設定ができましたら×をクリックしてローカルグループポリシーエディターを閉じます。



続いてローカルセキュリティポリシーの設定を行います。

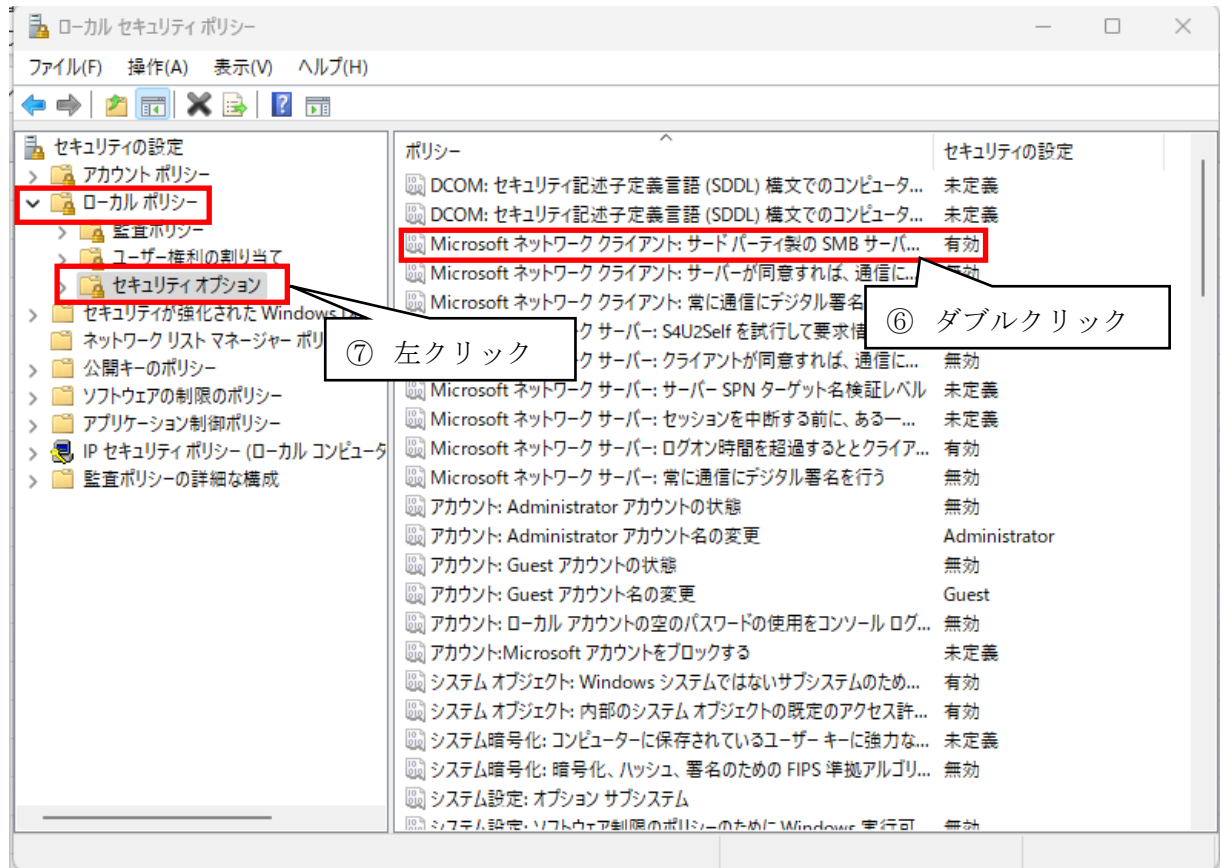
9. Windows マーク右クリックで ファイル名を指定して実行を開く をクリックします。



10. 名前のところに secpol.msc と入力してOKをクリックします。

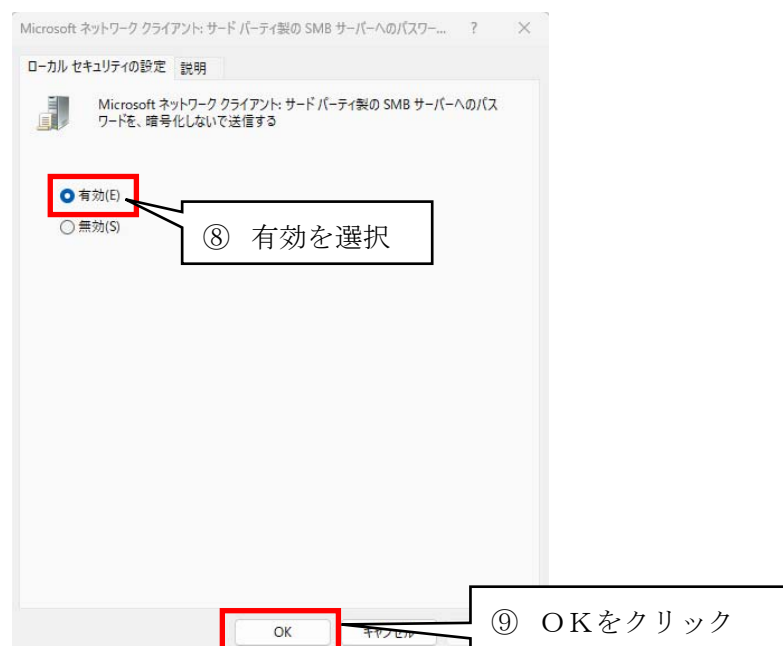


10. ローカルセキュリティポリシーが開くので、左側ペインのローカルポリシーを展開してセキュリティオプションをクリックします。



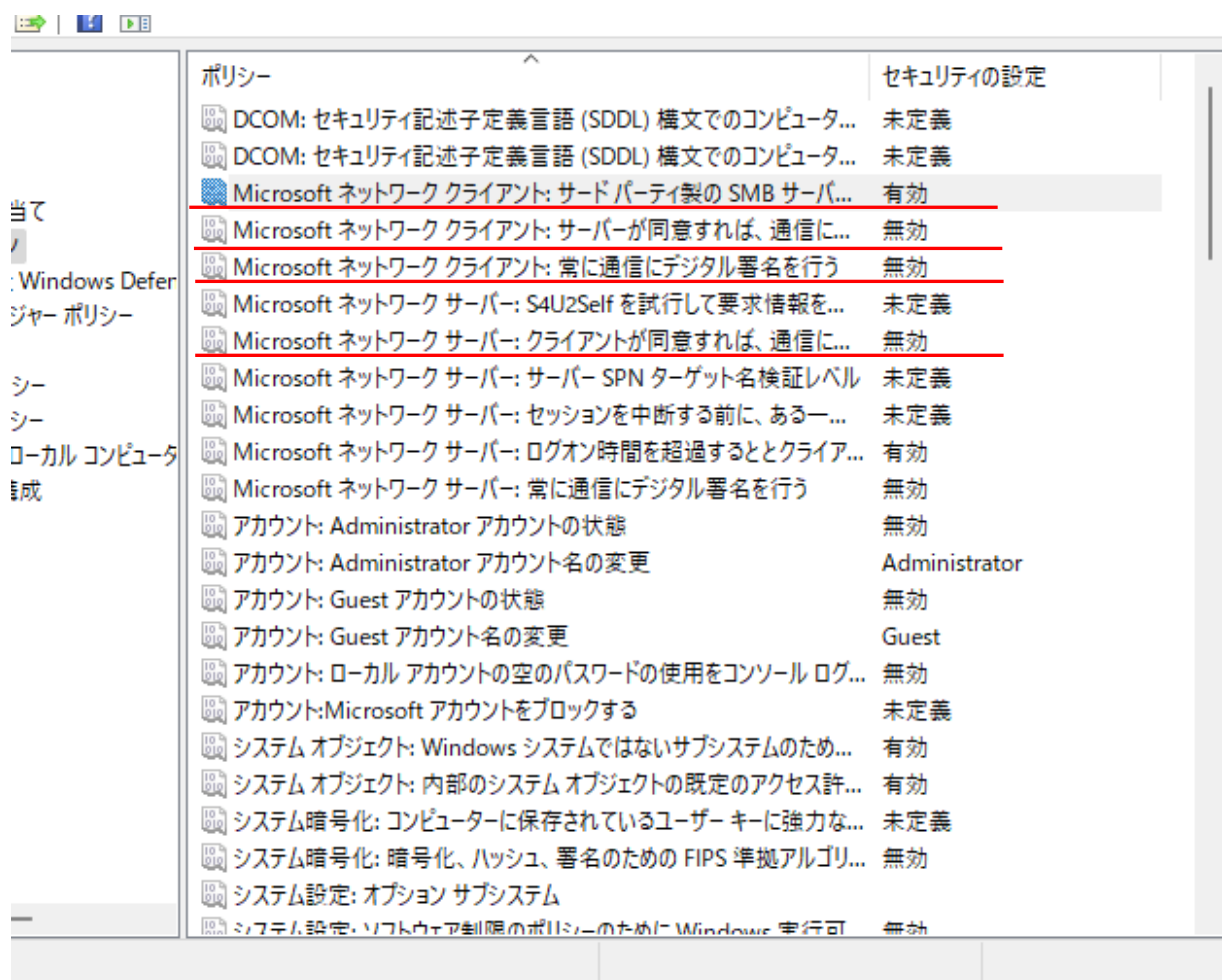
11. 右側ペインにある **Microsoft ネットワーク クライアント: サードパーティ SMB サーバーへの接続に、暗号化されていないパスワードを送信する** をダブルクリックします。

12. 有効を選択してOKをクリックします。



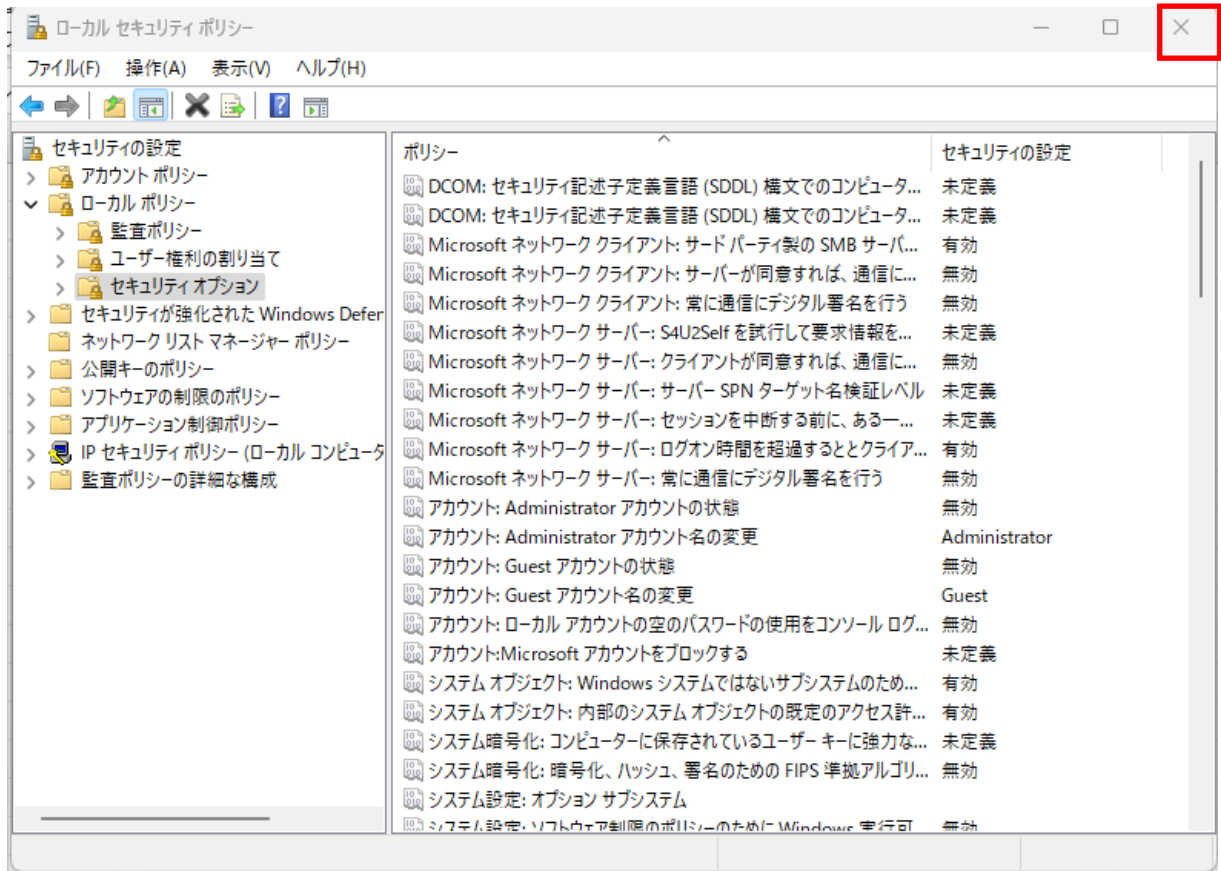
同様に右側ペインにある以下のポリシーを設定します。

- 1 3. **Microsoft ネットワーク クライアント: サーバーが同意すれば、通信にデジタル署名を行う** をダブルクリックして無効を選択してOKをクリックします。
- 1 4. **Microsoft ネットワーク クライアント: 常に通信にデジタル署名を行う** をダブルクリックして無効を選択してOKをクリックします。
- 1 5. **Microsoft ネットワーク サーバー: クライアントが同意すれば、通信にデジタル署名を行う** をダブルクリックして無効を選択してOKをクリックします。



*機種によっては既に有効や無効に設定されている場合もあります。

16. 設定ができましたら×をクリックしてローカルセキュリティポリシーを閉じます。



17. ネットワークに接続できるか確認します。

接続できない時はパソコンを再起動して再度接続できるか確認します。

念のためネットワーク接続したいパソコン(サーバー側)のパソコンも再起動します。

それでもネットワークに接続出来なかったり、ネットワークの資格情報の入力画面が表示される場合は「資格情報の登録」が必要になります。

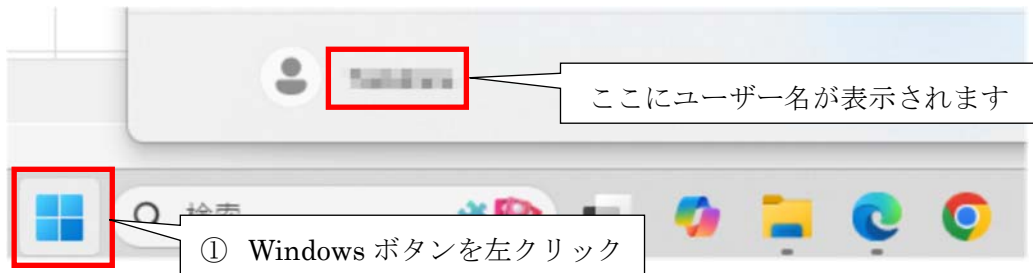
これにはユーザー様の環境によって対処が異なりますので、次ページに様々な対処を記載しますので該当する対処を行って下さい。

資格情報を入力する際にネットワーク接続したいパソコン(サーバー側)のログインユーザー名、パスワード、場合によってはパソコン名が必要になりますので先に確認しておきます。

注意：ネットワーク接続したいパソコン(サーバー側)での作業になります。

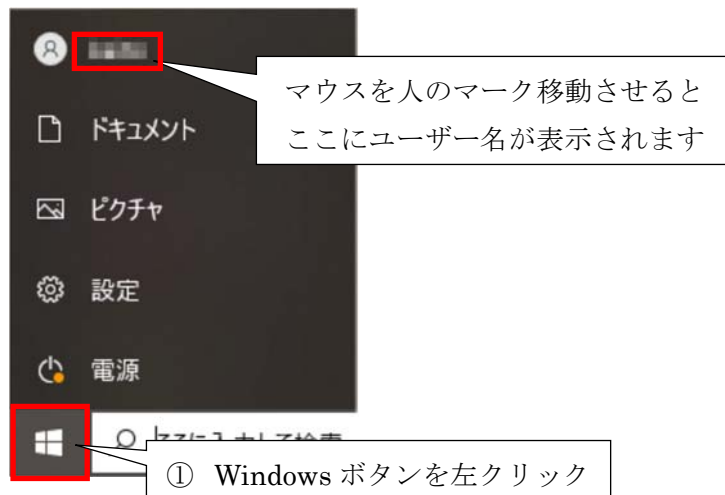
ログインユーザー名の確認 (Windows11)

Windows ボタンをクリックして表示されたメニューの下側に記載してあるのがユーザー名です。



ログインユーザー名の確認 (Windows10)

スタートボタンをクリックして表示されたメニューの左側にある小さいマークの一番上にある人のマークにマウスを移動させるとユーザー名が表示されます。



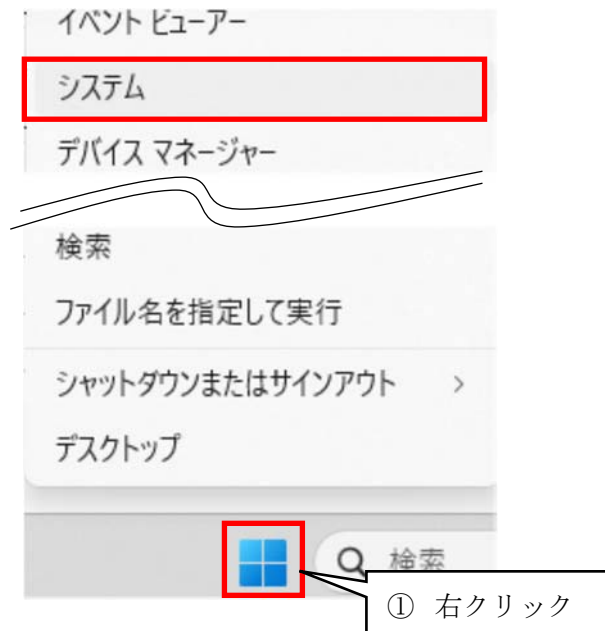
パスワードの確認

パスワードは接続したいパソコン(サーバー)の起動時に入力しているパスワードです。パスワードを入力しないで起動できている場合はパスワードが空欄になります。

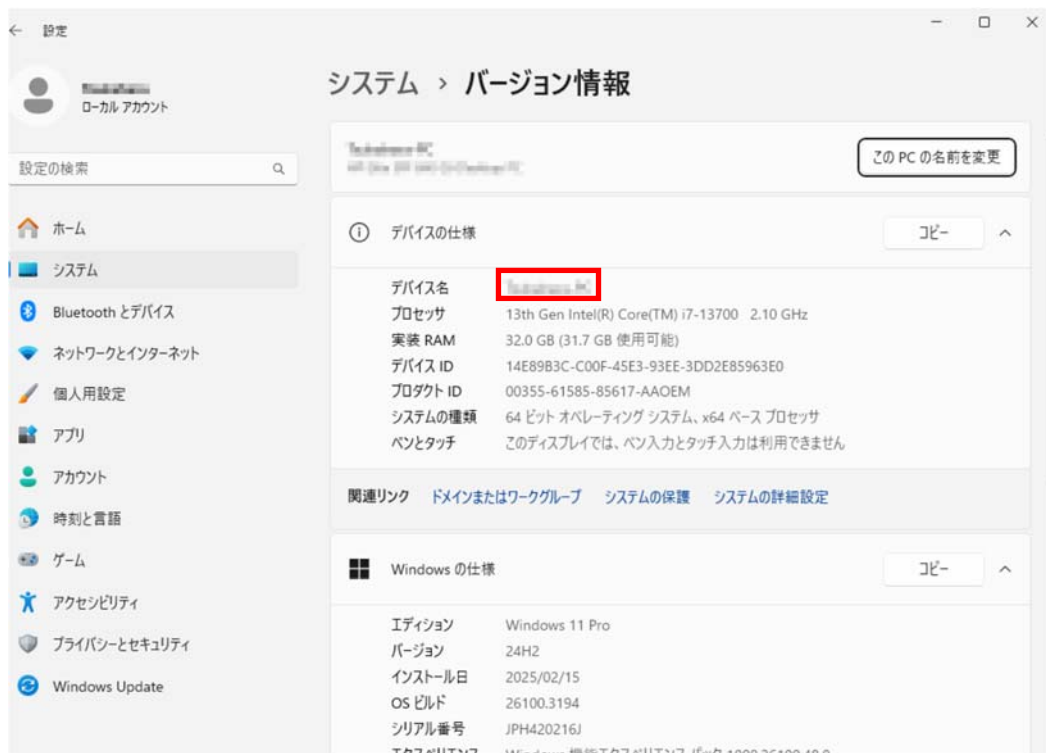
プライバシーの関係でパスワードが分からない場合は接続先パソコンの管理者(使用者)に後で資格情報入力時にパスワードを入力して頂きます。

パソコン名の確認

Windows マーク右クリックで システムをクリックします。



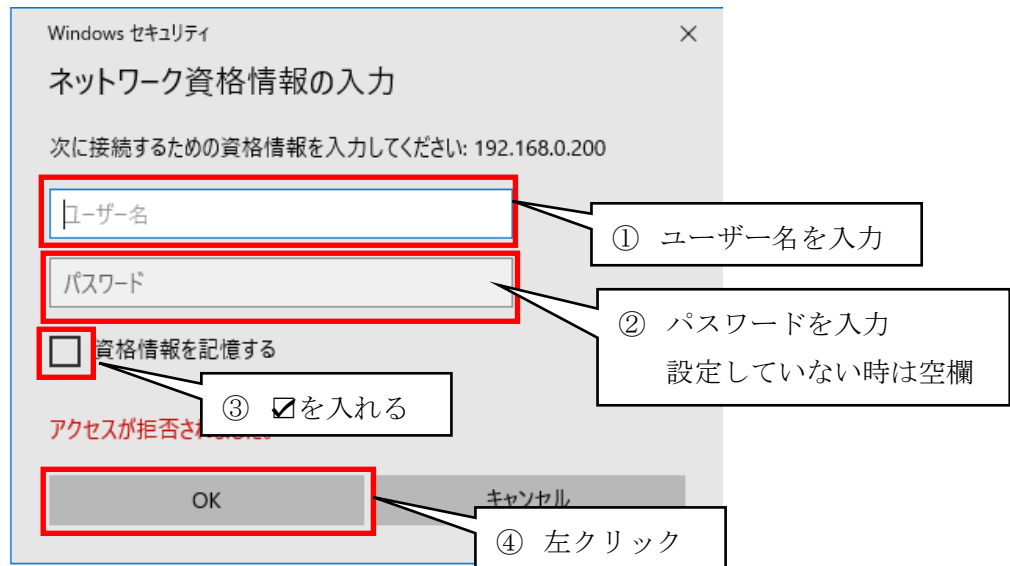
表示されたメニューのデバイス名欄がパソコン名になります。



ネットワーク接続したいパソコン（サーバー側）のユーザー名、パスワード、パソコン名が確認できましたら資格情報の設定を行います。

デスクトップに共有フォルダへのショートカットがありショートカットをクリックすると
Windows セキュリティーが表示される時

1. 共有フォルダへのショートカットをダブルクリックします。
2. ネットワークの資格情報の入力画面が表示された場合は
接続先のパソコンにログインしているユーザー名とパスワードを入力して
資格情報を記憶するにをいれてOKをクリックします。

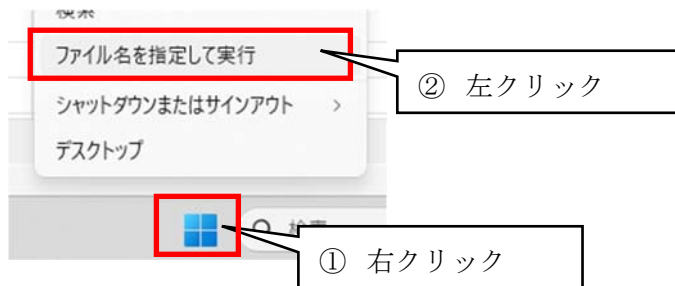


接続側のパソコンでパスワードを設定していない場合は入力しない(空欄)で大丈夫です。

3. OKをクリックした後に共有フォルダが開ければ設定完了です。

共有フォルダへのショートカットが無い場合

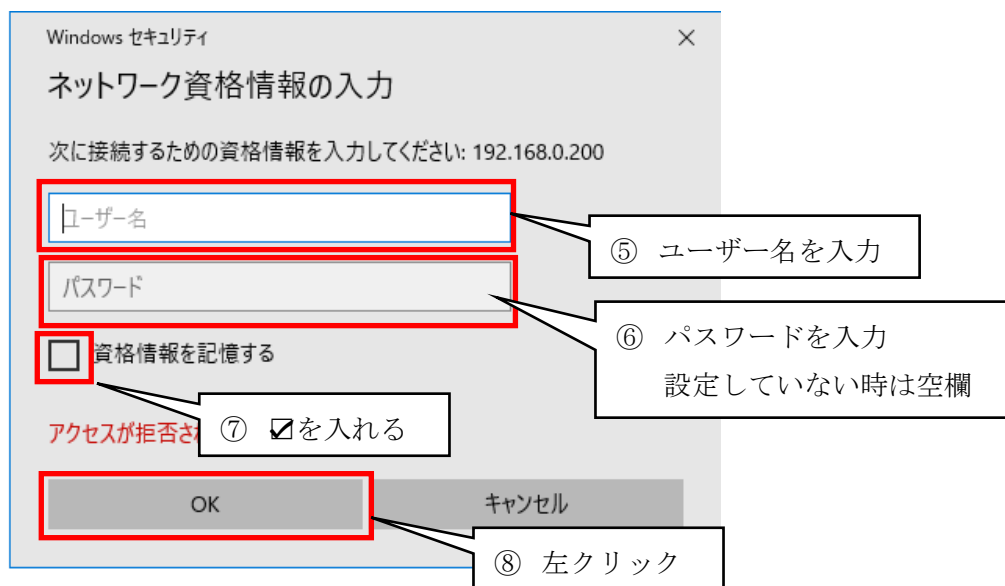
1. Windows マークを右クリックして ファイル名を指定して実行をクリックします



2. ¥¥の後に接続したいPC名(サーバー名)を全て半角で入力してOKをクリックします。
(画像では server というパソコンに接続したい時です。)



3. ネットワークの資格情報の入力画面が表示された場合は
接続先のパソコンにログインしているユーザー名とパスワードを入力して
資格情報を記憶するに☑をいれてOKをクリックします。



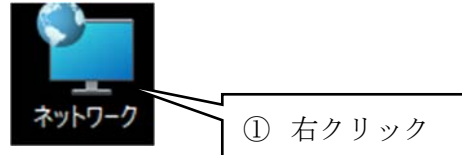
OKをクリックした後に共有フォルダが開ければ設定完了です。

資格情報を入力してOKをクリックしてもエラーが表示される場合

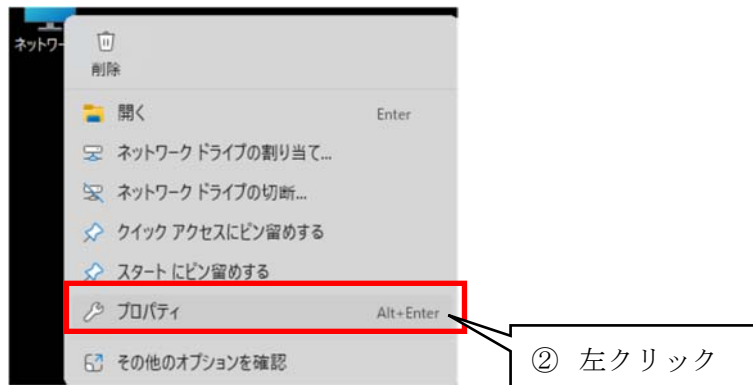
接続しようとしているパソコン(サーバー側)がパスワード設定を行っていない場合が多いです。

注意：ネットワーク接続したいパソコン(サーバー側)での作業になります。

1. デスクトップにネットワークアイコンがある時はネットワークアイコンを右クリックします。



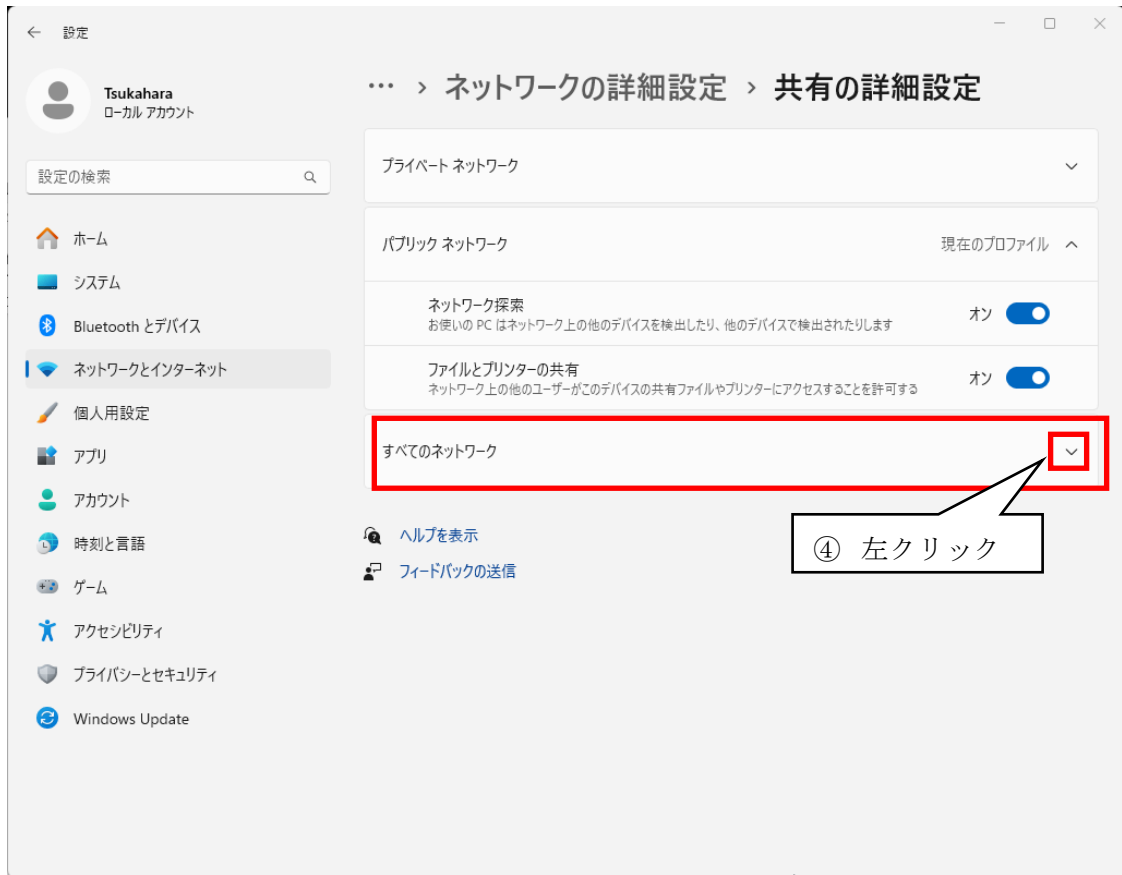
2. プロパティをクリックします。



3. ネットワークを共有センターの画面が表示されますので左側にある 共有の詳細設定の変更 をクリックします。



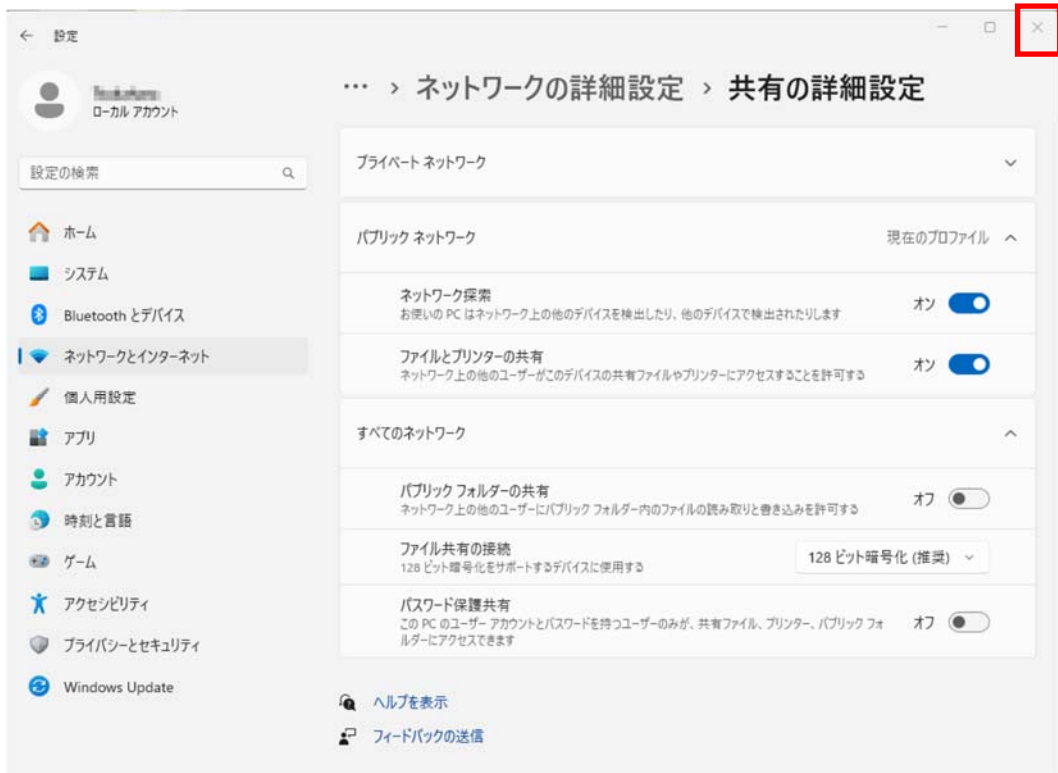
4. 共有の詳細設定画面が表示されたら すべてのネットワーク をクリックします。



5. 下にメニューが展開されてきますので、一番下の パスワード保護共有をオフにします。
(Windows10 の時は無効にするの方を選択します。)



6. 設定が出来ましたら×ボタンをクリックしてメニューを閉じます。



接続出来なかったパソコンから共有フォルダが開けるか確認をします。

デスクトップにネットワークのアイコンが無い場合は、コントロールパネルに入り表示方法を大きいアイコンしネットワークを共有センターをクリックする事でネットワークと共有センターの画面が表示されます。

